

▷ 6. 樹脂製建具

(1) 外部に面する建具の性能等級 (5.3.2 表5.3.1)	
種 別	○ A種 ○ B種 ○ C種
耐 風 圧 性	S-4 S-5 S-6
気 密 性	A-4
水 密 性	W-4 W-5

(2) 枠の見込み寸法： * 建具表による ○ _____

(3) 外部に面する建具の遮音性能等級 (5.3.2 表5.3.2)

種 別	○ T-A種 ○ T-B種
性能等級	T-1 T-2

(4) 外部に面する建具の断熱性能等級 (5.3.2 表5.3.3)

○ 適用する (○ H-A種 ○ H-B種 ○ _____)

○ 適用しない

(5) ガラス： * 複層ガラス ○ 単層ガラス ○ 三重ガラス (5.3.3)

(6) 表面色： ○ 標準色 (白) ○ 特注色 (5.3.4)

(7) 水切り板、ぜん板等： * 図示 ○ _____ (5.3.5)

(8) 簡易気密型ドアセット： ○ 適用する ○ 適用しない (5.4.2 表5.4.1)

○ 適用しない

(2) 耐風圧性 (外部)： (5.4.2)

○ S-4 ○ S-5 ○ S-6

(3) 防音ドア、防音サッシの適用と遮音性能の等級は図示 (5.4.2)

(4) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用と断熱性の等級は図示 (5.4.2)

(5) 耐震ドアセットの適用と面内変形追随性の等級は図示 (5.4.2)

(6) 鋼板： ○ JIS G 3302 ○ JIS G 3317 (5.4.3)

鋼板のめっき付着量： JIS G3302の場合 * Z12又はF12

JIS G3317の場合 * Y08

(7) 鋼板の厚さ： * 表5.4.2による ○ 図面による (5.4.4)

(1) 簡易気密型ドアセット： ○ 適用する (A-3) (5.5.2)

(2) 防音ドア、防音サッシの適用と遮音性能の等級は図示 (5.5.2)

(3) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用と断熱性の等級は図示 (5.5.2)

(4) 耐震ドアセットの適用と面内変形追随性の等級は図示 (5.5.2)

(5) 戸の鋼板： ○ 亜鉛めつき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板 (5.5.3)

○ カラー鋼板

(6) 召合わせ、縦小口包み板等の材種： (5.5.3)

* ステンレス ○ 鋼板 ○ アルミニウム合金

(7) 鋼板の厚さ： * 表5.5.1による ○ 図面による (5.5.4)

(1) 簡易気密型ドアセット： ○ 適用する ○ 適用しない (5.6.2)

(2) 耐風圧性 (外部)： ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (5.6.2)

(3) 鋼板の厚さ： * 表5.5.1による

(4) ステンレス鋼板： (5.6.3)

屋外 * SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 ○

屋内 * SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、SUS430 ○

(5) 表面仕上げ： * H/L仕上げ ○ 鏡面仕上げ (5.6.4)

(6) 曲げ加工： * 普通曲げ ○ 角出し曲げ (5.6.5)

(1) 建具材の含水率の種別： ○ A種 * B種 ○ C種

(2) フラッシュ戸の表面材及び表面厚さ (mm)

* 普通合板2.7以上 ○ 天然木化粧合板3.2以上

○ 特殊加工化粧合板2.7以上

(3) かまち戸の材料 (樹種) は表16.6.2による。

(4) ふすまの材料、枠及びくづりの材料は図示

(5) かまち戸、ふすま、戸ふすま、紙張り降りの見込み寸法

* かまち (36mm)、ふすま (19.5mm)、戸ふすま (30mm)、

紙張り降子 (30mm)

○ 図面による

(1) 取付施工

取っ手類の取付高さは、床仕上げ面からの高さとし、図示

その他指示のない場合は、建具製作所の仕様による。

(2) マスターキー： ○ 製作する * 製作しない

○ 既存のマスターキーに合わせる

(3) 樹脂製建具に使用する丁番： (5.7.2)

* 改修標準仕様書表5.7.3による ○ _____

(4) 鍵： * 3本1組 ○ _____ (5.7.4)

(5) 錠鍵： ○ 無し ○ 有り (5.7.4)

(6) 建具表で指示のない建具金物は5章7節による。

(7) スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値： (5.8.2)

* 改修標準仕様書表5.8.1による ○ 図示

(8) スイングドア用自動開閉装置の性能値： (5.8.2)

* 改修標準仕様書表5.8.2による ○ 図示

(9) 開閉方法は、建具表による。 (5.8.3)

(4) センサの種類： * 光線 (反射) スイッチ

○ 熱線スイッチ

○ その他 (_____)

(5) 凍結防止措置： (5.8.3)

○ 行わない * 行う (適用箇所は建具表による)

性能： 表5.9.1による。

(1) 機能による種類 (5.10.2)

○ 一般重量シャッター ○ 外壁用防火シャッター

○ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター

(2) 耐風圧強度： (5.10.2)

一般重量シャッター _____ N/m²

外壁用防火シャッター _____ N/m²

(3) シャッターケース (防火、防煙以外のもの) ○ 設ける

○ 設けない

(4) 開閉機能による種類 ○ 上部電動式 (手動併用)

○ 上部手動式

(5) 注意喚起装置 ○ 音声発生装置 ○ 注意灯の設置

○ シャッターへの危険表示

○ シャッターの下降位置の表示

(6) 吹雪止め 吹き込み防止用サイドシール (3方) を設ける

(7) 鋼板の種類及びめっきの付着量 (5.10.3)

種類： _____

付着量： * Z12又はF12 ○ _____

(1) 開閉形式による種類： * 手動式 (5.11.2)

○ 上部電動式 (手動併用)

(2) 耐風圧強度： _____ N/m² (5.11.2)

(3) スラットの材質： (5.11.3)

○ JIS G 3312 めっき付着量： * Z06又はF06 ○ _____

○ JIS G 3322 めっき付着量： * A290 ○ _____

▷ 15. 軽量シャッター

▷ 16. オーバーヘッドドア

セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
○ スチールタイプ	○ 125	* バランス式	○ スタンダード	○ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ アルミニウムタイプ	○ 100	* チェーン式	○ ローヘッド	○ ステンレス鋼板
○ ファイバーグラス	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト	○ _____
○ _____	○ 50	○ パーチカル	○ _____	○ _____

▷ 17. ガラス

(1) 標準仕様書の規定による品質・規格を満たす材料とする。 (5.13.2)

(2) ガラスの種類及び厚さは建具表による。

ガラス留め材 (防火戸以外)

該当	建具の種類	材 種
○	アルミニウム製	* シーリング材 ○ ガasket
○	鋼 製	* シーリング材
○	ステンレス製	* シーリング材
○	鋼製軽量建具	* シーリング材
○	木 製 建 具	* 押縁
○	プラスチック建具	* ガasket

(3) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ： (5.13.4)

* 表5.13.1による ○ 図面による

(4) 熱線反射ガラスの映像調整： (5.13.5)

○ 行う ○ 行わない

(1) 表面形状、図面による (5.13.5)

呼び寸法、図面による

厚 さ、図面による

(2) 壁用金属枠、補強材：図面による

(3) 骨格の材質、寸法、形状： (5.13.5)

* ステンレス鋼 (SUS304)、径5.5mmはしご形状複筋及び単筋

○ 図面による

(4) 化粧目地モルタル 色： _____

(5) シーリングの種類、図面による

(6) 金属製化粧カバー、材質、寸法、形状：図面による

(7) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法： (5.13.5)

* 適用する

○ 適用しない

(8) ガラスブロックの目地幅の寸法： (5.13.5)

平積み * 8mm以上15mm以下 ○ _____

曲面積み * 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、

外側15mm以下、内側6mm以上

○ _____

(9) 伸縮調整目地の位置： (5.13.5)

* 6mm以下ごとに10～25mm ○ 図示

(10) 目地部の方骨の補強方法： (5.13.5)

* ガラスブロック製作所の仕様 ○ 図示

● 第 6 章 内装改修工事

項 目	特 記 事 項
-----	---------

▷ 1. 他の部位との取合い等 (6.1.3)

(1) 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲

* 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○ _____

(2) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

* 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○ _____

(3) 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 (6.1.3)

* 既存のまま

○ _____

▷ 2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)

(1) 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去： 図示

(2) 合成樹脂塗床材の除去等： ○ 機械的除去工法

○ 目視し工法

(3) 改修後の床の清掃範囲： ○ 改修端部より1m程度

○ 図示

▷ 3. 既存壁の撤去並びに下地補修 (6.3.2)

(1) 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

* モルタル塗替え工法 (改修標準仕様書 4.4.9)

○ _____

▷ 4. 既存天井の撤去並びに下地補修 (6.4.2)

既存下地材を再利用： 図示

▶ 5. 木下地等 (6.5.1)

(1) 表面仕上げの程度： (6.5.1)

○ A種 * B種 ○ C種 ○ D種 (適用箇所は図示)

(2) 木材の含水率： 製材はJAS乾燥材とし、現場搬入時の含水率は、次のとおりとする。 (6.5.2)

部位 種 別

下地材 * A種 (15%以下) ○ B種 (20%以下)

造作材 * A種 (15%以下) ○ B種 (18%以下)

(3) 「製材の日本農林規格」による製材 (6.5.2)

① 下地用針葉樹製材

施工箇所	寸法	等級	形状	含水率
壁下地 (吊下ゴール受材取付部)	図示	* 2級 ○	角材	15%以下
		* 2級 ○		
		* 2級 ○		

② 造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率

③ 広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率
			* 1等 ○		
			* 1等 ○		
			* 1等 ○		

(4) 「製材の日本農林規格」以外による製材 (6.5.2)

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
				○ 適用する	○ 適用する	
				○ 適用しない	○ 適用しない	
				○ 適用する	○ 適用する	
				○ 適用しない	○ 適用しない	
				○ 適用する	○ 適用する	
				○ 適用しない	○ 適用しない	

造作材の材面の品質： * A種 ○ B種

代用樹種を使用できない箇所：

(5) 製材は、JAS乾燥認定工場から出荷された木材は、出荷証明書を、

その他の工場から出荷された木材は、北海道林産物検査協会が発行する

検査証明書を提出すること。

(6) カラマツの使用範囲は、東・母屋・土台・大引きとする。

(7) 造作用集成材 (6.5.2)

① ホルムアルデヒド放散量： * F☆☆☆☆ ○ _____

② 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級
			* 1等 ○ 2等
			* 1等 ○ 2等
			* 1等 ○ 2等
			* 1等 ○ 2等

③ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級
	化粧薄板：			* 1等 ○ 2等
	芯材：			* 1等 ○ 2等
	化粧薄板：			* 1等 ○ 2等
	芯材：			* 1等 ○ 2等
	化粧薄板：			* 1等 ○ 2等
	芯材：			* 1等 ○ 2等

④ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)
	化粧薄板：		
	芯材：		
	化粧薄板：		
	芯材：		
	化粧薄板：		
	芯材：		

⑤ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	含水率
				* ○ 15%以下
				* ○ 15%以下
				* ○ 15%以下

⑥ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	含水率
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下

⑦ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	含水率
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下
	化粧薄板：				*
	芯材：				○ 15%以下

(8) 造作用単板積層材 (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量： * F☆☆☆☆ ○ _____

「単板積層材の日本農林規格」の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理
		○ 有り	○ 適用する
		加工： ○ 天然木化粧加工	○ 適用しない
		(○ 塗装加工)	
		○ 無し (等級： _____)	
		○ 有り	○ 適用する
		加工： ○ 天然木化粧加工	○ 適用しない
		(○ 塗装加工)	
		○ 無し (等級： _____)	

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理
		○ 有り 加工： ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ()	* 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない
		○ 無し ()		
		○ 有り 加工： ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ()	* 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない
		○ 無し ()		

留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

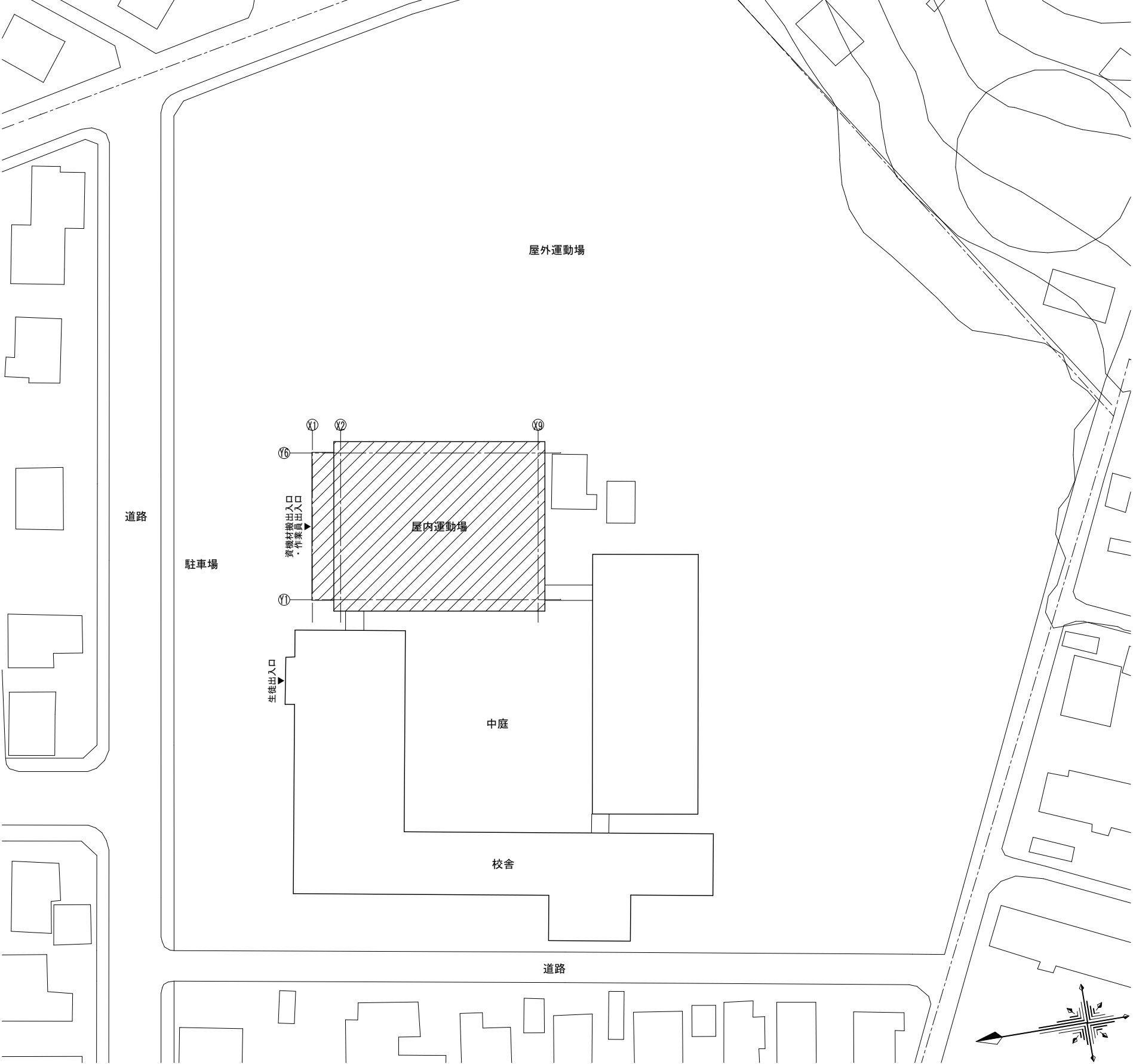
特記仕様書（４）

図面番号 A-04



所在地：留萌市沖見町2丁目141

案内図
S=1:20,000 (A3)



配置図

内部仕上表

室名	区分	床	幅木	壁	天井	備考
体育室	既存	笠倉式フローリング(ナラ)t15	木製幅木 SOP	【一部撤去】シナ合板t5.5目透し貼 SOP	木毛板突付	【撤去】吊下バスケットゴール1対、折畳バスケットゴール2対 ※バックボードは、吊下：プラスチック板、折畳：木板
	改修	(既存のまま)	(既存のまま)	【一部改修】シナ合板t5.5目透し貼 SOP	(既存のまま)	【新設】吊下バスケットゴール1対、同取付用受材SOP、 折畳バスケットゴール2対



留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

設計者

検 印

検 印

設 計

工 事 名

港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

図 面 名

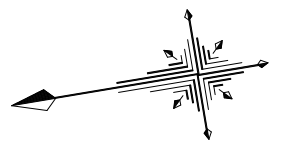
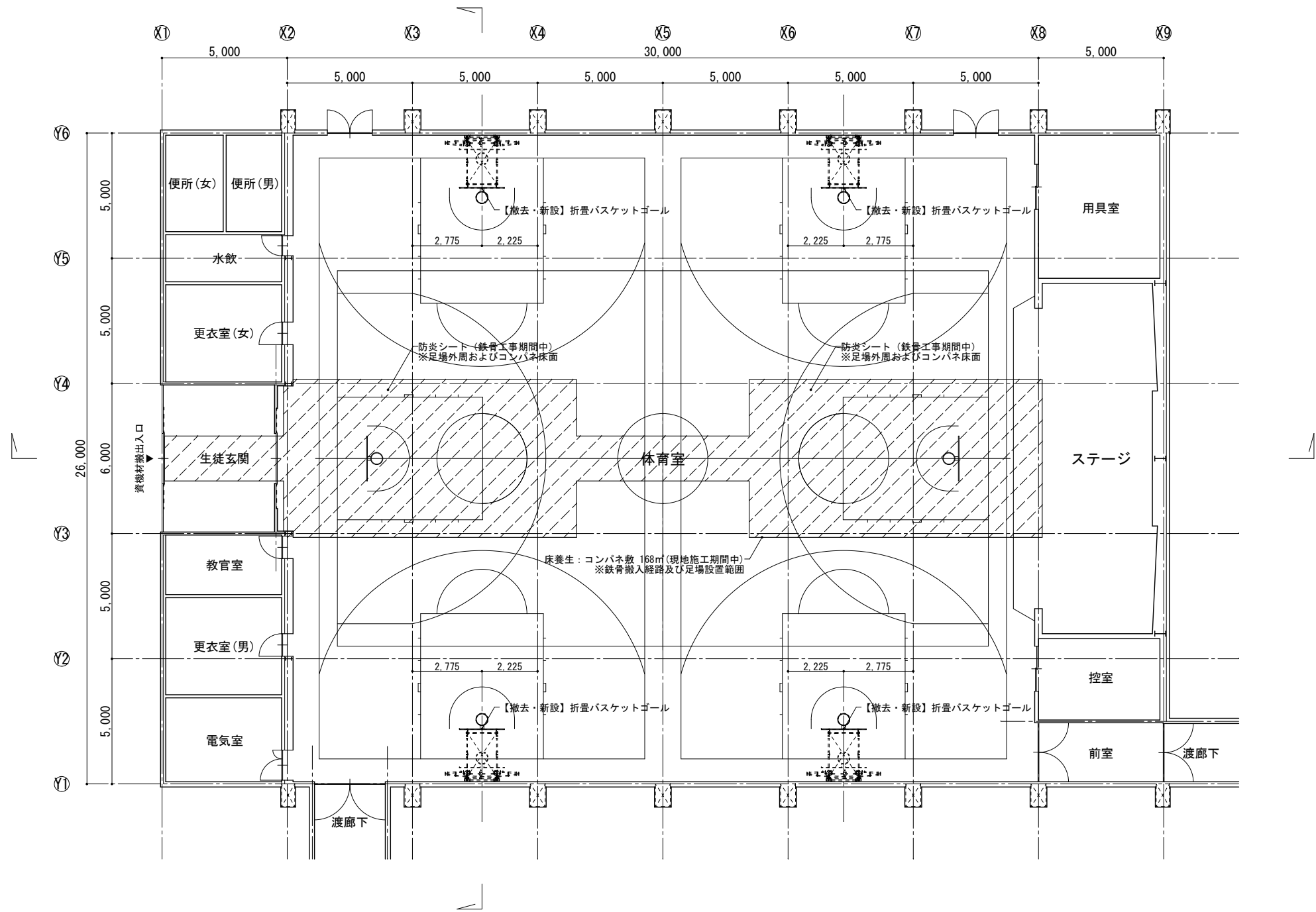
案内図・配置図・仕上表

縮 尺

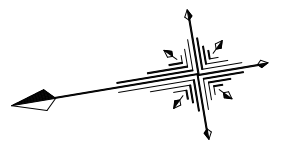
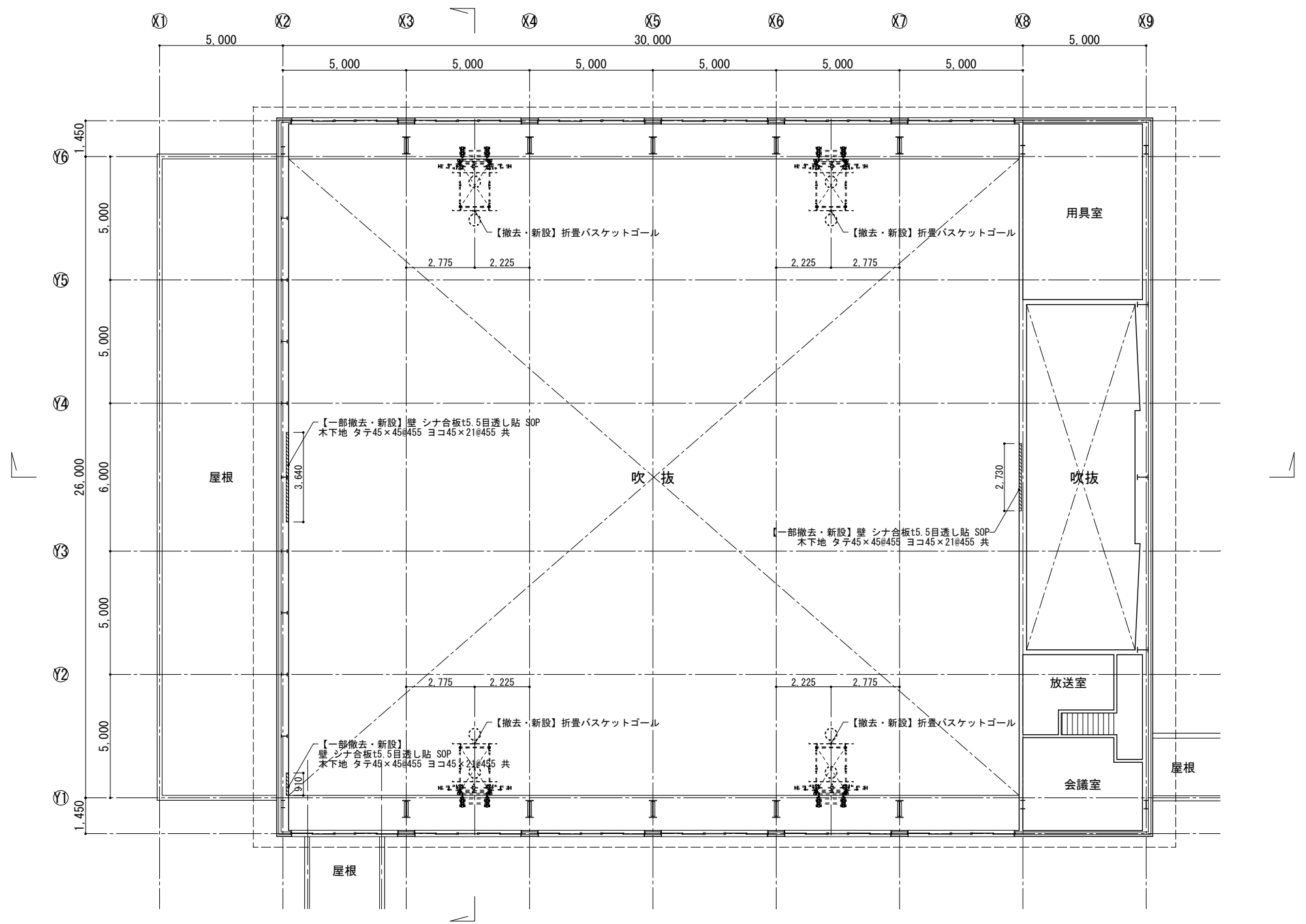
日 付

図面番号

A-05



	留萌市役所 都市環境部 建築住宅課	設計者	検印	検印	設計	工事名	図面名	縮尺	図面番号
						港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事	屋内運動場 1階平面図	日付	A-06



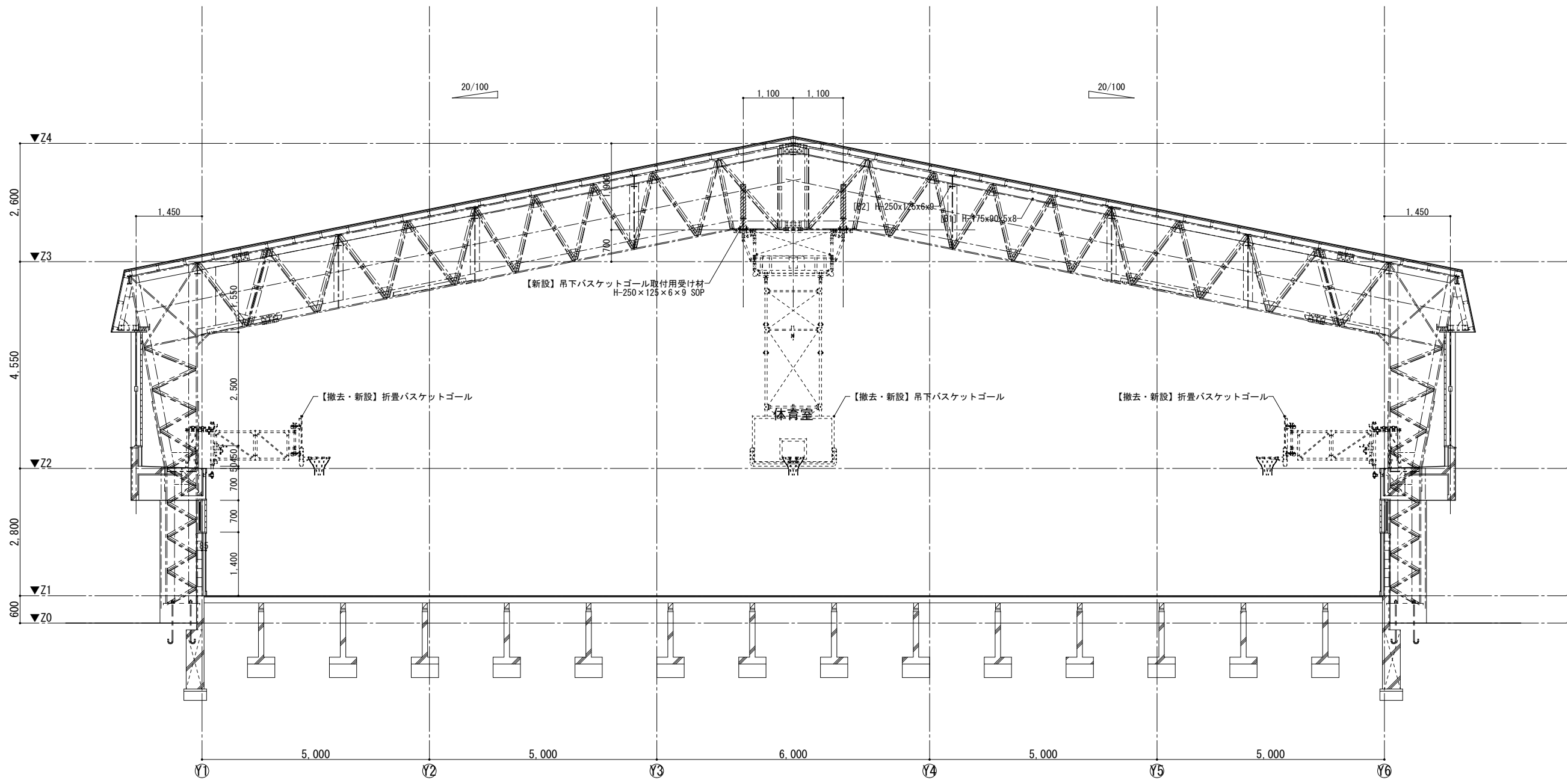
留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

設計者	検印	検印	設計

工事名
港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

図面名
屋内運動場 1階上部平面図

縮尺	図面番号
日付	A-07



留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

設計者

検印

検印

設計

工事名

港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

図面名

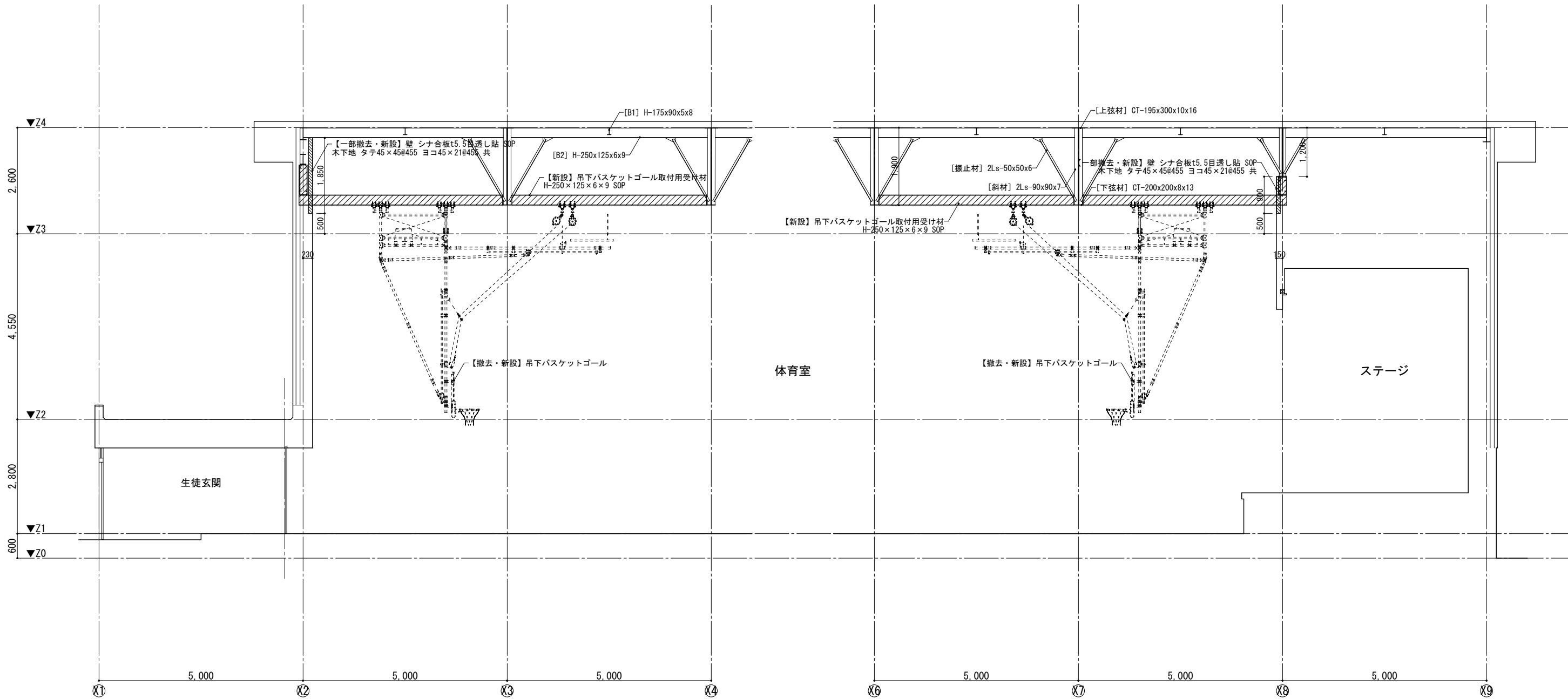
屋内運動場 断面図（１）

縮尺

日付

図面番号

A-08



留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

設計者

検印

検印

設計

工事名

港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

図面名

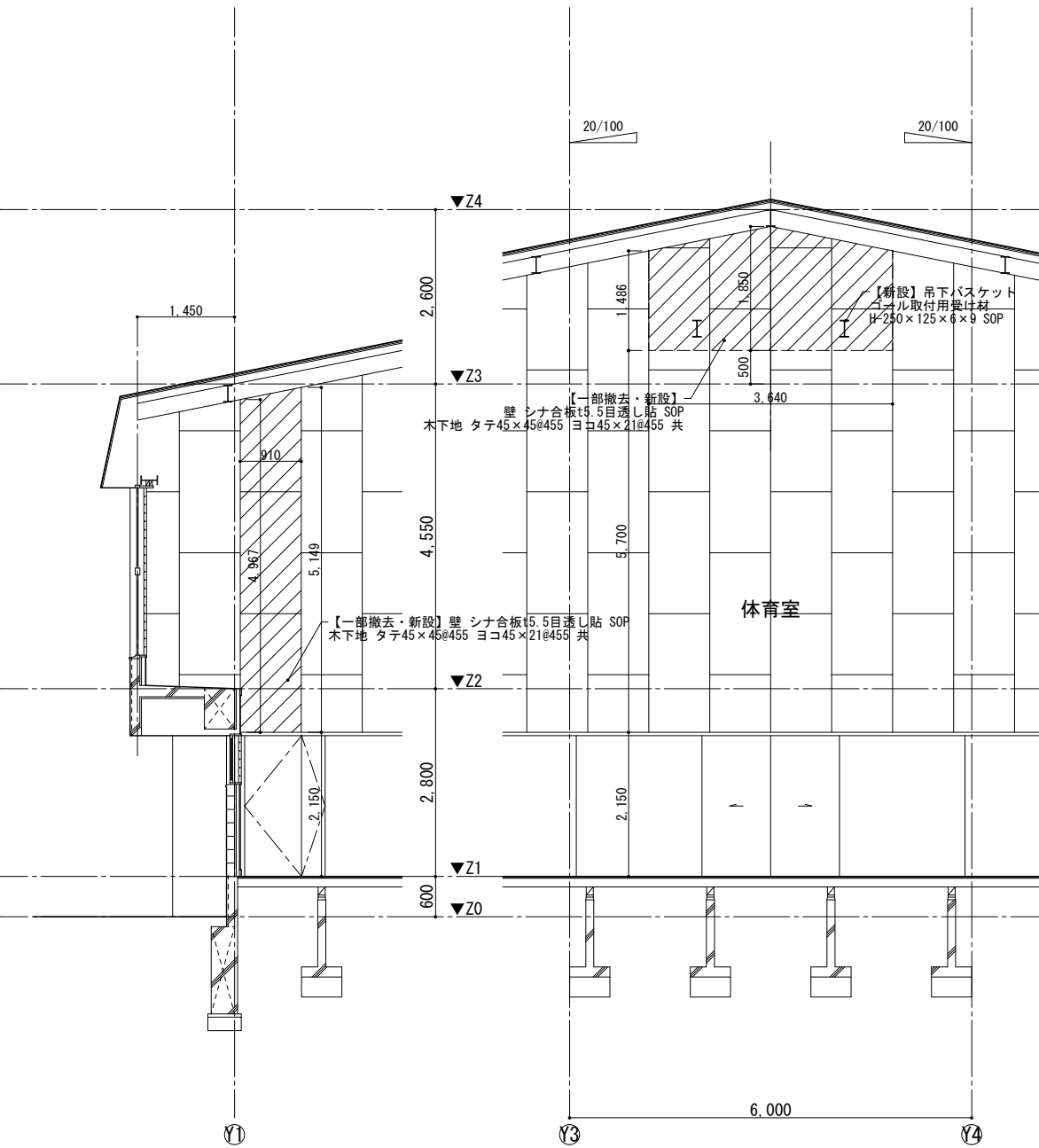
屋内運動場 断面図（２）

縮尺

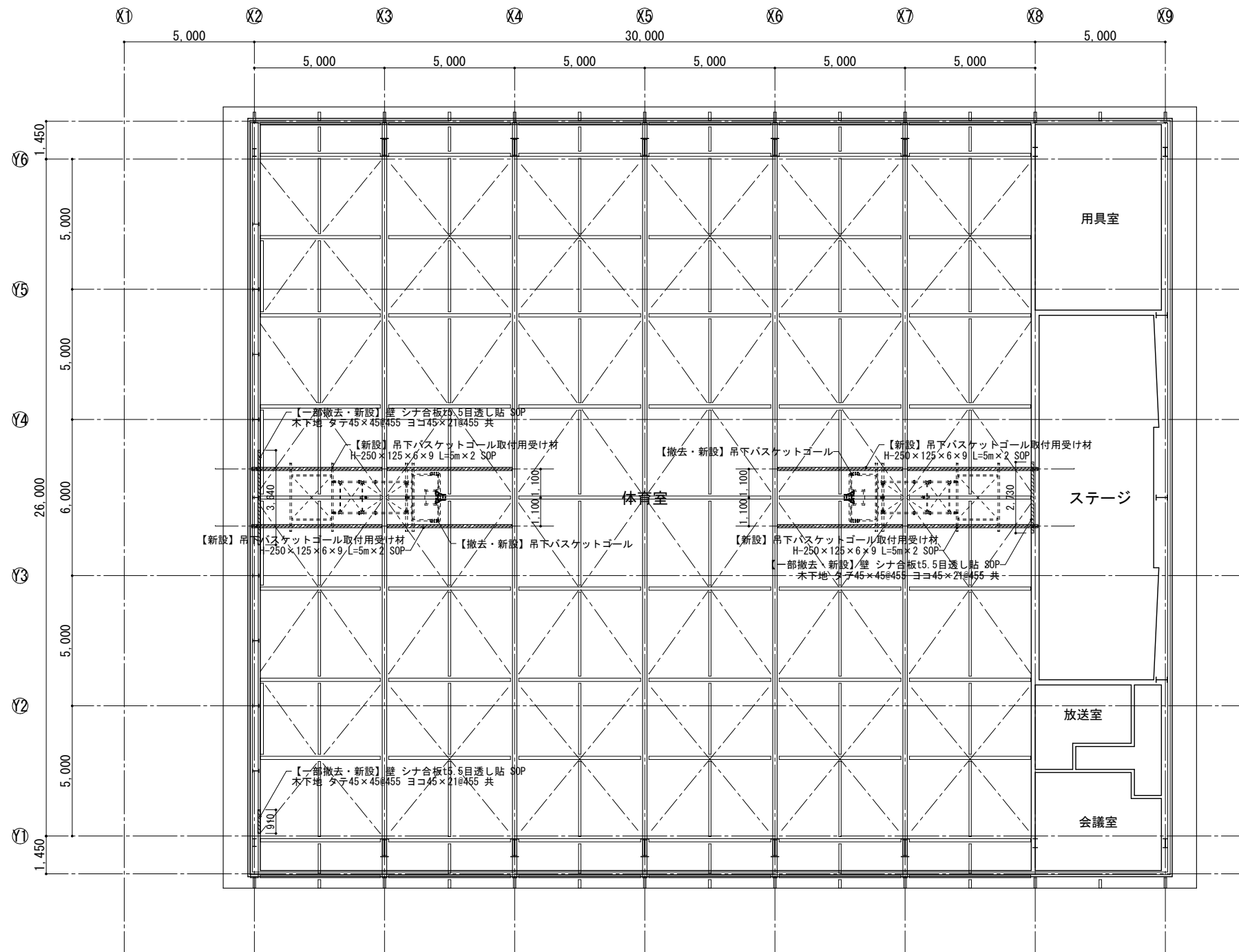
日付

図面番号

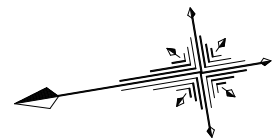
A-09



展開図 (X2通り)

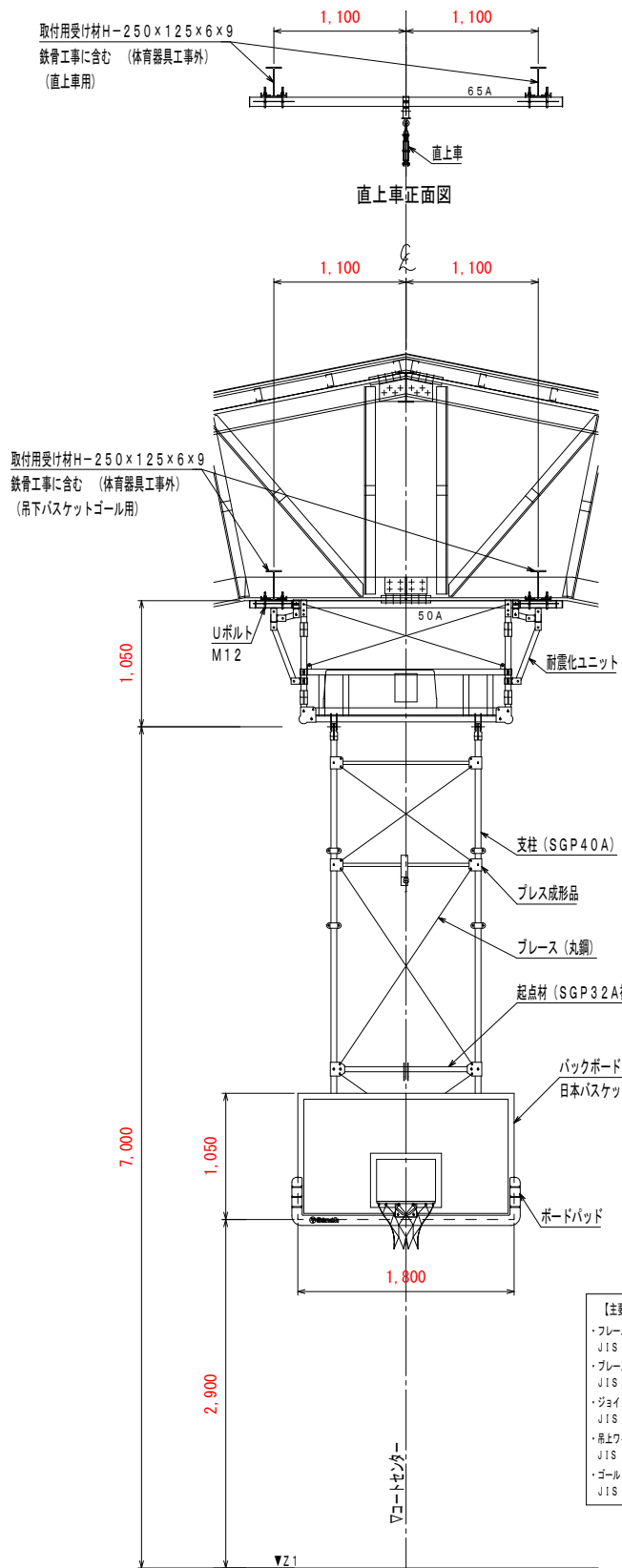


天井伏図





	設計者	検 印	検 印	設 計
		/ /	/ /	

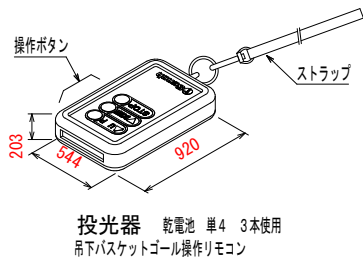


DA213071

DA100T41

吊下バスケットゴール 前方吊上げ投光電動式 S=1/30
(日本バスケットボール協会装置検定品) ショックアブソーバー搭載急速降下緩衝装置付

耐震化ユニット



26×15mコート
コートセンターまで13000

コートエンドライン

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

200

1,200

50

3,050

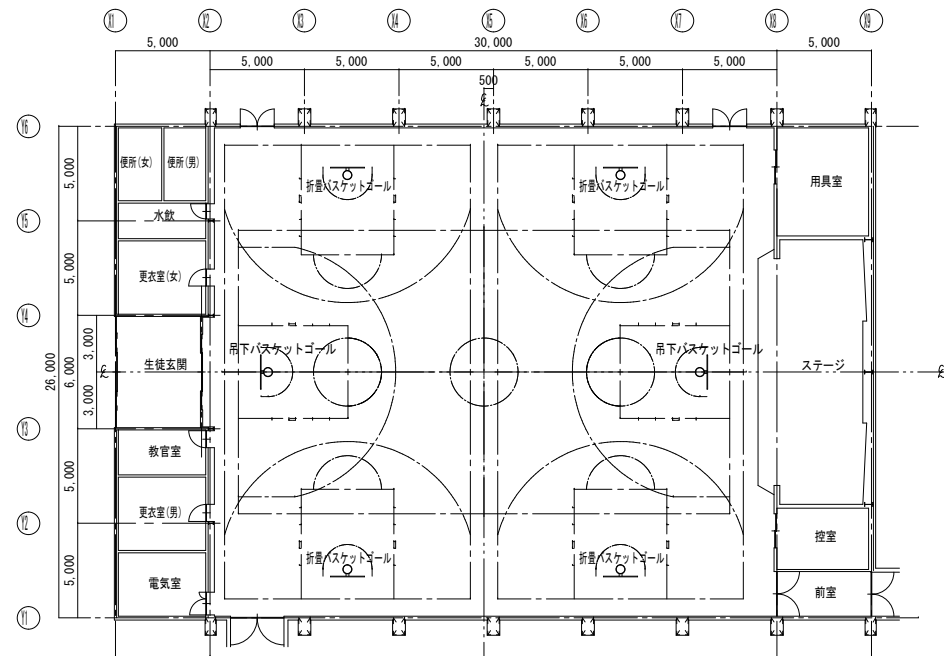
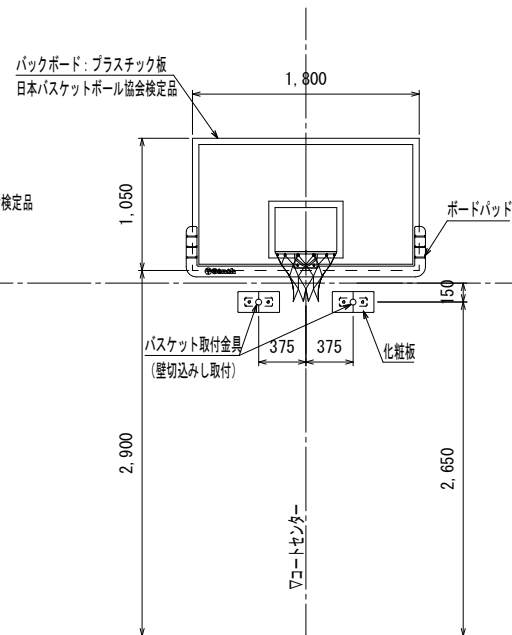
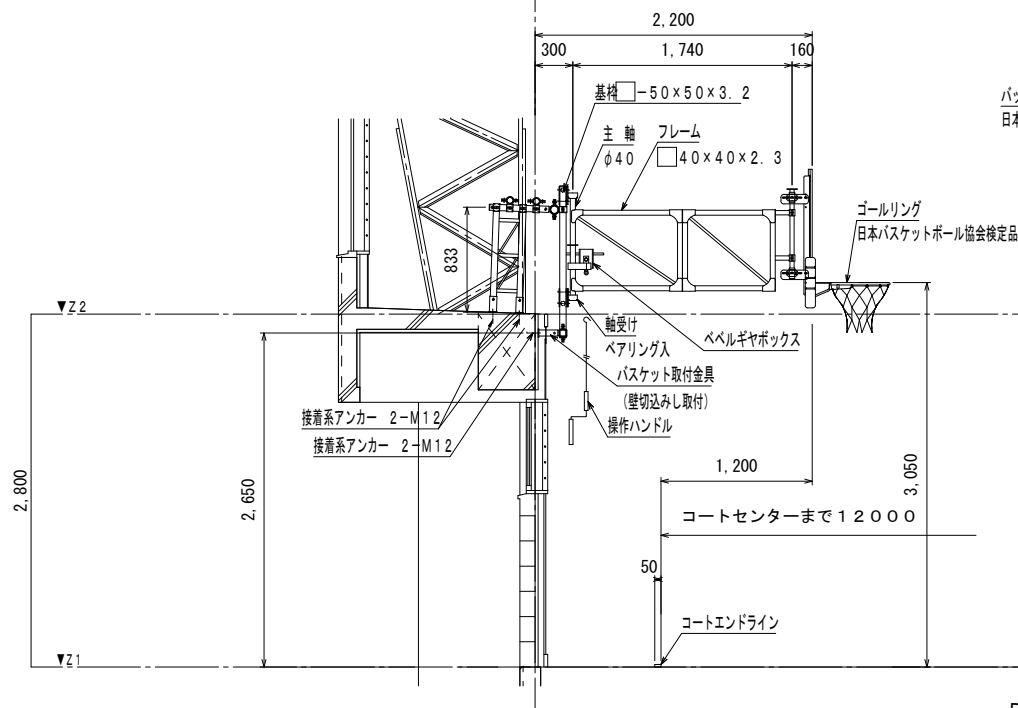
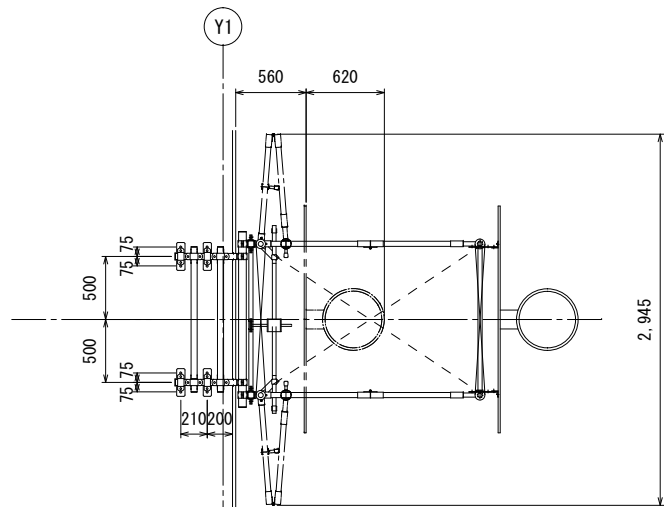
200

1,200

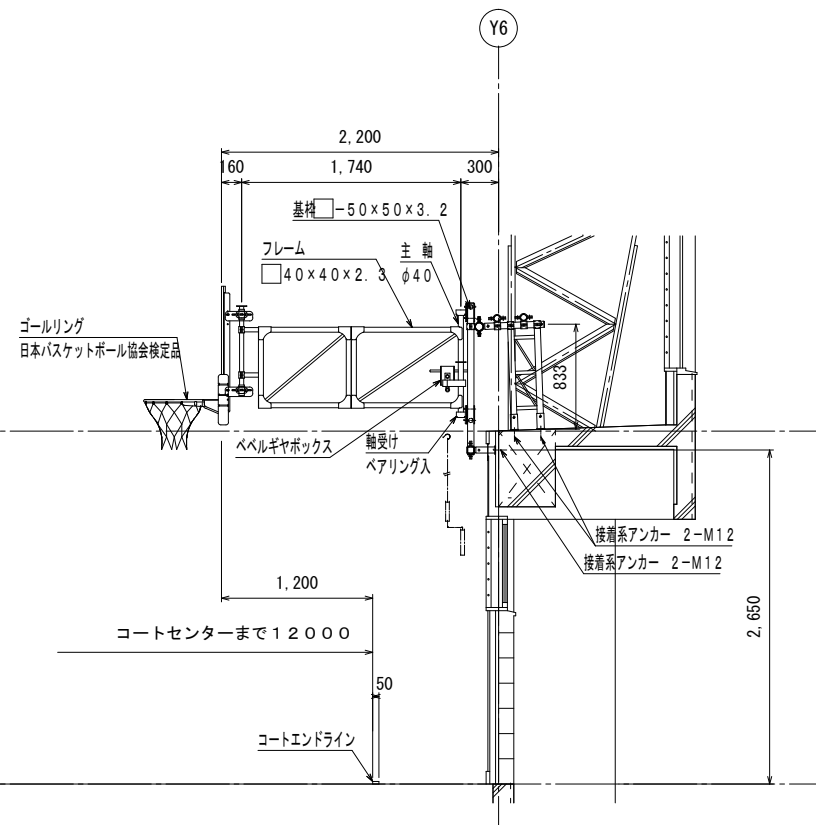
50

3,050

200



既存コートライン図



DC122000 壁面折畳式バスケットゴール 壁面固定式床ハンドル操作 S=1/30
(日本バスケットボール協会検定品)



留萌市役所 都市環境部 建築住宅課

設計者

検印

検印

設計

工事名

港南中学校屋内運動場バスケットゴール耐震化工事

図面名

折畳バスケットゴール詳細図

縮尺 A1 S=1:30
A3 S=1:60
日付

図面番号
A-12